

令和3年度第1回印西市国際化推進懇談会 会議録

開催日時 令和3年7月13日（火）午前10時00分～11時10分

開催場所 印西市役所 附属棟 23・24会議室

出席者 宍戸真会長、坂東昭二委員、富田多美子委員、渡邊信委員、マクドエル デービッド ジョン委員、糸井淳委員、岡野誠委員、岩並仁委員、張京玲委員、マイケル フィルハート委員（10名）

欠席者 山口道博委員、ラビンドラ デイ委員、許毓婷委員（3名）

事務局 企画政策課 高平課長、櫻井係長、杉山

傍聴者 1名

議題 （1）令和2年度事業報告について
（2）令和3年度実施事業について

議事録（要点筆記）

4. 議題

（1）令和2年度事業報告について

事務局 【資料1に基づき、令和2年度事業について報告】

【以下、質疑応答】

糸井委員 資料1の3pにあるALT（外国語指導助手）の予算はどこから出ているのでしょうか。国から県に予算が下りてきているものだと理解していたので、質問させていただきました。

事務局 小中学校の先生は県職ですが、ALTは市の事業として配置しているので、市の予算で実施しています。

糸井委員 資料1には各事業の決算額が記載されていますが、当初予算額も同じ様式の中に併記していただくと一目で執行額の比較ができるので、検討していただけますか。

事務局 決算を伴う会議資料については、次回から予算額も記載するよう改善してまいります。

議長 他にご意見やご質問がなければ、（1）については以上といたします。

（2）令和3年度実施事業について

事務局 【資料2に基づき、令和3年度実施事業について説明】

【以下、質疑応答】

糸井委員 資料2の1番、異文化理解講座についてですが、平日に開催されているので、参加したくてもできない方もいると思います。インターネットウェブ上で1週間程度講義を公開すれば、そうした方も視聴できるようになると思うので、提案させていただきます。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。確かに会場に来られない方にも視聴していただける、よい方法だと思います。ただ、インターネットウェブ上での公開ということになりますと、事前に講師の許諾を得るなどの問題をクリアしていく必要がございます。なお、今年度は新たな試みとして、新しい参加者層の掘り起こしなどを目的として、10月の講座は土曜日に開催する予定です。

岡野委員 資料2の2pに記載されている日本語サポーター養成講座に、個人的に参加しています。講義では、主語を省略することが多いなど、日本語がいかにか外国人にとって習得が難しい言語かということ学びました。外国人の数が増えていることから、今後はこうした講座をより幅広い市民を対象に実施してはいかがでしょうか。

事務局 市職員を対象に、「やさしい日本語」をテーマに研修を実施したことがあり、今後も市職員に対しては継続的に行ってまいりたいと考えております。また、外国人との関わりが深い市民の方などに対しても、「やさしい日本語」の普及啓発を行ってまいりたいと思います。

糸井委員 資料2の1pに記載されている東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進事業は予算規模の大きな事業ですが、事業が中止、または一部中止になった場合でも、何らかの形で予算は使い切るものなのでしょうか。

事務局 実施できなかった事業に関連する予算は執行残となるか減額補正することになります。

岩並委員 会議資料からは全体として新型コロナウイルスへの対策があまり読み取れないのですが、もっと力をいれていく必要があるのではないのでしょうか。先ほど事務局から説明があったように、外国人の防災支援については、防災アプリの導入など、外国人の防災意識を高める取組が進められているようです。同様に感染症対策も、国際化の推進においては重要な課題ではないかと思われれます。例えば、外国人市民の新型コロナウイルスへの対応について、感染が落ち着いた段階でアンケート調査を行うなど、感染症対策に向けた市としての取組を今後進めていただければと思います。

事務局 感染症対策としては、「新しい生活様式」を今後どう構築していくかというのが現在の市としての重要な課題と認識しております。一例としては、市の会議をオンラインで行うことを積極的に検討しております。検討を進める中で、自宅で使えない方や、意見が伝わりにくいといったデメリットがある一方、発言が正確に残っていくといったメリットがあることがわかってまいりました。国際化の推進においても様々な取組を今後進めていく必要がありますが、なにが正解というのがわからない状況でございますので、これからも試行錯誤を重ねつつ、積み重なってくるデータを客観的に検証しながら、できることから取り組んでまいりたいと思います。

岩並委員 印西市には技能実習生がどの程度いて、そうした方に対してはどのような生活支援が行われていますか。

事務局 新しくできました国際化推進方針の6pに市内在住外国人の在留資格別データが掲載されております。令和2年3月31日現在で440人となっており、5年前から約3倍にまで増加しております。また、市ではこうした外国人市民のデータを毎月更新しております。生活支援については、福祉部局が窓口となるため、企画政策課として詳しい状況は把握していませんが、窓口に来た日本語が不自由な方のサポートに入るケースは増えている状況です。

また福祉部局からも在留資格まではわからないものの、外国人の相談件数は増えていると聞いています。今後は、そうしたデータの収集にも努めてまいりたいと思います。

富田委員 小中学校で活用されている一斉メールを使って異文化理解講座を周知してみたらいかがでしょうか。

事務局 この場で学校の一斉メールの活用について明言はできませんが、様々な媒体の活用については今後検討してまいりたいと思います。

フィルハート委員 市公式アカウントのツイッターに翻訳文を掲載する予定はありますか。

事務局 ツイッターでは翻訳機能を設定できるのでしょうか。

フィルハート委員 興味がある内容であれば、グーグルなどの翻訳機能を使って読もうとするかもしれませんが、そうでなければ原文が翻訳文の方がより読まれるのではないかと思います。

事務局 大変よいご提案だと思いますので、持ち帰って検討いたします。

議長 ツイッターはわかりませんが、私の知る限り、フェイスブックには直の翻訳機能が付いていたと思います。

フィルハート委員 イベント情報などは、まだ市民への周知が不十分だと思うので、普段利用される駅の案内板やツイッター、外国人の会員も増えている自治会の回覧などを活用し、もっと情報にアクセスしやすい環境をつくっていただくことが必要だと思います。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。一例ですが、本日お配りした国際交流協会の広報紙「ひろば」は自治会に全戸回覧しております。この冊子では、QRコードも使って語学講座や日本語教室の案内を行っており、市といたしましても、国際交流協会のこうした工夫を参考にさせていただきたいと思います。

フィルハート委員 外国人が参加できるSDGsに関連した取組はありますか。NPOの活動やごみゼロ運動などがあると思いますが。

事務局 SDGsについては、今年度からスタートする総合計画の中で大きく取り上げておまして、市の施策ごとにSDGsのゴールと関連付けを行っております。したがって、市の取組は基本的にすべてSDGsを推進する形になっております。市の責務として、今後の市の取組は、SDGsのどのゴールと関連しているかということ、市民の皆様に説明していかなければならないと考えております。

富田委員 資料2の1pに記載されている中学生のオーストラリアへの派遣事業は、いつ頃を予定されていますか。

事務局 来年3月頃の前定だと聞いています。

議長 現在、オーストラリアは新型コロナウイルスの影響で鎖国状態であることから、予定したとしても年度末になるのではないかと思います。

